

ごみの減量化を進めていくため、令和5年度に市が実施した取り組みを紹介します。

1. リデュース（ごみの発生抑制）対策

◆フードドライブ事業

まだ食べることができるにもかかわらず、捨てられてしまう食品ロスを削減するため、10月の食品ロス削減月間にあわせて、フードドライブを実施しました。

フードドライブとは？

各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、それらをまとめてフードバンク団体や地域の福祉施設、団体などに寄贈する活動のことです。



市民の皆様の協力により、5日間で合計164個、重さにすると29.8キログラムの食品が集まりました。寄付いただいた食品につきましては、伊達市社会福祉協議会を通じて、子ども食堂など食品を必要としている方に提供されました。

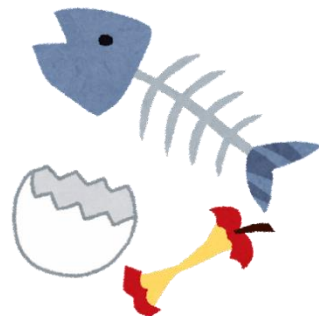
【集まった食品の一部】



◆ダンボールコンポストモニター事業

生ごみの堆肥化を進め、家庭から出る生ごみの減量化、資源化を図るため、ダンボールコンポストのモニター事業を実施しました。

モニターが約3カ月間で投入した生ごみの量を合計すると、約615キログラムであり、45リットルのごみ袋に換算すると、約14袋分のごみを減量することができました。



ダンボールコンポストとは？

ダンボールコンポストとは、段ボール箱を利用した生ごみ処理容器です。基材を混ぜ入れたダンボール箱に生ごみを投入し、毎日かき混ぜることによって、微生物が生ごみを分解して3～4カ月ほどで堆肥を作り出すことができます。



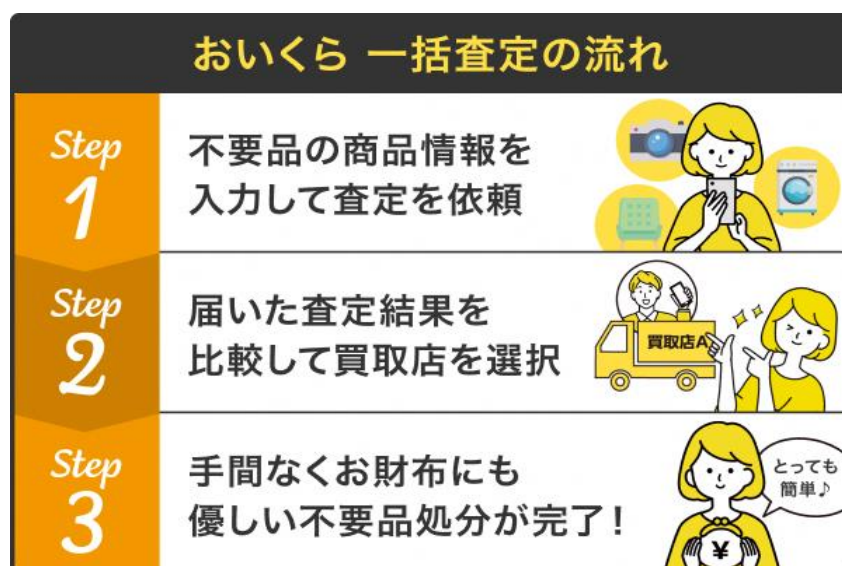
2. リユース（資源の再利用）対策

◆民間企業と連携したリユース（再利用）事業

令和6年1月に株式会社マーケットエンタープライズ、株式会社ジモティーの二社と協定を結び、事業者と連携して不要品をリユースできる取り組みへの利用促進を開始しました。処分する前にリユースを検討していただくことで、ごみ減量への意識醸成につなげていきます。

【おいくら】

株式会社マーケットエンタープライズが運営する「おいくら」とは、インターネット上で一度に複数のリユースショップの買い取り価格を比較し、売却ができるサービスです。出張買い取りでの対応が可能な品物の場合は、自宅から一歩も出ずに不用品を売却する事もできます。



【ジモティー】

「ジモティー」とは、不要になったものを地域内で譲ることができるサービスです。インターネットを通じて、不要品の譲渡・売却のほか、ボランティア募集やイベント情報などが掲載され、「地域の掲示板」として地域で活用されています。



3. リサイクル（資源の再生利用）対策

◆古着のイベント回収

これまでの使用済小型家電回収イベントに合わせ、令和4年度に初めて古着回収を実施しました。令和5年度も古着の回収を実施し、多くの古着を回収しました。集まった古着はリサイクル業者に引き渡され、再利用されます。



◆中学生への環境教育

中学3年生に向けて「伊達市のごみ問題を解決するために、一人一人が日常生活で取り組めることは何か」という学習テーマで、分別内容や方法が分かりにくいと言われる「紙類」と「プラスチック類」の分別・リサイクルについて授業の中でお話しました。

中学生からは「自分の家でもう一度ごみについて振り返りたい」「これからはしっかり分別してごみを捨てる」などの感想がありました。



今後も引き続き、ごみの減量化に向けての取り組みを進めていきます！